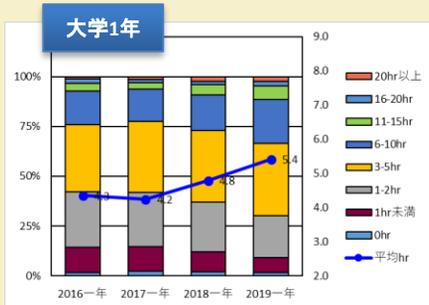


## IR報告～学修時間経年変化～



例年本学では、大学1年生、短大1年生を対象とした1年生調査、大学3年生を対象とした上級生調査を実施しています。それらをまとめて学生調査とよびます。

これまで、学生の授業外学修時間の確保が課題となるなか、学生調査には、1週間あたりの「**授業外学修時間**」の実態を問う項目があります。2016年度以降の大学1年生、短大1年生、および大学3年生の結果を左図に示します。



平均時間(グラフ青線)に着目すると、2017年度の結果はいずれの学年においても、前年度の結果より減少傾向にあります。2018年度には増加に転じます。さらに2019年度には、大短1年生の学修時間が増加しました。

ここにはありませんが、各授業ごとに実施する授業アンケートの結果では、予習や復習に積極的に取り組む姿勢が、年々高まる傾向にあります。



2019年度は、板橋校舎での100分授業の開始、アクティブラーニングを取り入れた自校教育科目の開講、新カリキュラムのスタートなど、大きな変化がありました。これらの変化に加え、各学科・科や授業レベルでの工夫・改善といった継続的な取り組みの効果が、授業外学修時間の増加に表れていることが伺えます。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で、ほとんどの授業がオンラインで実施され、学生にとってこれまでになかった環境下で授業を受講する状況となりました。こうした学修環境の変化が、学生の授業外学修にどのような影響を及ぼすか、引き続き調査を継続してまいります。

### 令和2年度学生調査を実施します。

令和2年度の学生調査を実施します。今年度はマークシートを使用せず、学生はWebから調査に参加します。学生へのアナウンスは、学修・教育開発センターより学生へ直接行います。集計した結果は、IR情報に掲載し、教育課程編成の検証など教育改善活動等に活用します。調査へのご理解のほど、よろしくお願いたします。

#### 〈スケジュール〉

令和2年10月30日(金)	～11月16日(月)	学生調査の実施期間(学科により多少の前後があります。)
令和2年12月	～令和3年1月	集計、分析
令和3年2月以降		随時報告(分析依頼も受け付けます。)

#### 担当・連絡先

学修・教育開発センター 宮 ( [cred@tokyo-kasei.ac.jp](mailto:cred@tokyo-kasei.ac.jp) )

## <CRED貸出書籍のご案内>

『大学教授が、「研究だけ」していると思ったら、大間違いだ！  
「不人気学科教授」奮闘記』

齋藤恭一(著) イースト・プレス

タイトルをただで読みたくなった。内容は現在の大学の在り方に対する嘆きや批判だろうと予測した。しかし、読み始めてすぐに予想は覆された。ブーブー文句をいいながらも、大学で起きる様々な珍事(?)を「快活に」乗り越えていくノンフィクションだったのである。同じ大学に勤める者として、正直、元気と勇気が貰えた本である。ただ、あまり大学のことを知らない一般の読者が抱くであろう疑問が気になった。「大学って何？」(児童学科・平山祐一郎先生)



## 令和2年度 教職員研究会が 開催されました！

令和2年度の教職員研究会は7月16日(木)に開催予定だった第一部はコロナウィルス感染拡大防止の観点とオンライン授業期間中であることを考慮し中止となりましたが、第二部は9月11日(金)にオンラインで開催されました。

理事長・学長からのメッセージ、及び副学長・学修・教育開発センター所長の井上先生による企画趣旨説明は、収録した動画をmanaba上に掲載し事前配信、当日は教員の部、職員の部、それぞれWebexを使用し開催されました。教員の部では自己点検・評価の取組状況について、各学科・科の点検・評価ワークシートをもとに情報共有と意見交換が行われ、職員の部では明治大学教学企画部教学企画事務室の山本幸一様より、「データ活用による大学評価(アセスメント)と教学政策の推進」をテーマにご講演いただきました。

参加は理事・監事9名、教員192名、職員172名、合計373名と例年を上回る人数となりました。ご参加いただき、ありがとうございました。

## 令和2年度 学科主体FD費用申請受付中

各学科・科が執行可能なFD予算が、例年CREDには割り当てられています。今年度は、予算削減措置がとられたため、1学科・科あたり上限48,500円(例年は10万円)の費用を、学科・科主体のFDに充てられます。

今年度は、コロナ感染防止対策のため、全学的にオンライン授業の実施に迫られました。今後も同様の状況が続く可能性があることから、効果的な授業方法を見出し、教員間で共有する必要があります。今年度、予算は削減されましたが、ぜひ学科主体FD費用を有効的に活用し、教育の質の維持向上に努めましょう。

- ◆ 申請締切り: 令和3年1月16日(土)
- ◆ 掲載先: [サイボウズガルーン](#) に掲載中
  - お知らせ・部門別情報(掲示板)
  - 部門別公開情報 → 学修・教育開発センター
  - 学科主体FD

### 予算執行までの流れ

#### Step1

各学科・科より申請書をCREDへ提出 → 審査有り

#### Step2

各学科・科にてFDを実施

#### Step3

申請書の範囲内の費用について、支払い原議書を起案し、CREDへ提出

※予算執行後、報告書をご提出いただけます。